

令和 7 年度静岡県地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）

国の主な取組

目標 1 | 公共交通ネットワークの維持確保 を達成するための取組

- 中部運輸局作成リーフレットによる情報提供や指導・助言等
⇒施策 1 | 広域幹線交通の維持確保、施策 2 | 地域内交通を支える市町支援
- 「交通空白」解消緊急対策事業等を活用した「交通空白」の解消に向けた取組の推進
⇒施策 2 | 地域内交通を支える市町支援
- 下記の国庫補助制度による公共交通事業者等への財政支援
 - ・地域間幹線系統確保維持国庫補助金
⇒施策 1 | 広域幹線交通の維持確保
 - ・交通 D X・G X による経営改善支援事業
⇒施策 3 | 運転手等公共交通を支える人材確保

目標 2 | 公共交通の利活用促進 を達成するための取組

- 地域公共交通セミナーによる事例紹介やバリアフリー教室（バス車両乗降体験）など開催
⇒施策 1 | モビリティマネジメントの推進
- 下記の国庫補助制度による公共交通事業者等への財政支援
 - ・地域公共交通再構築事業
⇒施策 4 | 公共交通を快適に利用できる環境の整備
 - ・日本版 MaaS 推進・支援事業
⇒施策 2 | 周遊性の向上・改善、施策 4 | 公共交通を快適に利用できる環境の整備
 - ・地域における受入環境整備促進事業
⇒施策 2 | 周遊性の向上・改善、施策 3 | 公共交通の役割・魅力の発信

目標 3 | 公共交通サービスの効率化・高度化 を達成するための取組

- 中部運輸局作成リーフレットによる情報提供や指導・助言等
⇒施策 3 | 交通結節点における円滑な接続
- 下記の国庫補助制度による公共交通事業者等への財政支援
 - ・地域公共交通バリア解消促進事業
⇒施策 1 | バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の促進
 - ・交通 D X・G X による経営改善支援事業
⇒施策 2 | D X の導入促進、施策 5 | 交通分野における G X 推進
 - ・「共創・MaaS 実証プロジェクト」
⇒施策 4 | 駅・停留所から自宅・目的地に向けた移動手段の確保の支援

県の主な取組**目標1 | 公共交通ネットワークの維持確保** を達成するための取組

- 交通空白地における交通手段に関して、市町向けにアドバイザー派遣やセミナー開催等を行う
⇒施策2 | 地域内交通を支える市町支援

目標2 | 公共交通の利活用促進 を達成するための取組

- ハッピーライド in 静岡の開催（事務局の補佐、イベントの効果分析など）
⇒施策1 | モビリティマネジメントの推進、施策3 | 公共交通の役割・魅力の発信
- 訪日外国人の受入環境に関して、他県事例を調査し、とりまとめる
⇒施策2 | 周遊性の向上、改善

目標3 | 公共交通サービスの効率化・高度化 を達成するための取組

- 輸送手段のシームレスな連携及び交通結節点における各種案内に関して、他県事例を調査し、とりまとめる
⇒施策3 | 交通結節点における円滑な接続
- 交通空白地における交通手段に関して、市町向けにアドバイザー派遣やセミナー開催等を行う【再掲】
- 多様な輸送資源の活用に関して、賀茂地域等における地域資源の掘り起こしのための調査を行う
⇒施策4 | 駅・停留所から自宅・目的地に向けた移動手段の確保の支援
- ハッピーライド in 静岡の開催（事務局の補佐、費用負担、イベントの効果分析など）【再掲】
⇒施策5 | 交通分野におけるGX推進

伊豆地域の施策 | 観光需要に応じた移動手段の提供 のための取組

- パーソナルモビリティ等の活用に関して、他県事例を調査し、とりまとめる

東部地域の施策 | モード間の乗継環境改善 のための取組

- 交通結節点における各種案内に関して、他県事例を調査し、とりまとめる

中部地域の施策 | 利用者ニーズにマッチした公共交通サービスの提供 のための取組

- デマンド交通の効率化・合理化に関して、他県事例を調査し、とりまとめる

西部地域の施策 | 自家用車からの転換に繋がる移動手段の創出 のための取組

- ファースト・ラストワンマイルの移動に関して、他県事例を調査し、とりまとめる

市町の主な取組

目標 1 | 公共交通ネットワークの維持確保 を達成するための取組

<施策 2 ① | 交通空白地等における交通手段の維持・確保>

- 公共ライドシェアの実証運行を検討（地区説明会の開催、交通事業者等との調整）【伊豆の国市】
- グリーンカーシェア実証実験【東伊豆町】
- 前年度にビジネスコンテストに採択された「郊外・山間地域における公共ライドシェアの推進（スタートアップ事業）」を実施【静岡市】
- 交通空白地域における地域タクシー制度の導入【島田市】
- 地域タクシーの実証運行を9月まで行い、課題等を整理して、10月から本格運行を開始【森町】
- 交通空白地の把握に向けた調査を実施【裾野市、伊東市】

目標 2 | 公共交通の利活用促進 を達成するための取組

<施策 1 ② | 自家用車から公共交通への利用転換につながるイベントの実施>

- 一人暮らし等高齢者の全世帯に啓発パンフレットを配布（高齢者向けのシェアリングサービスの推進）【沼津市】
- 地域住民向けのシンポジウムを開催【磐田市】

<施策 4 ② | デジタル技術を活用した公共交通サービスの効率化・高度化>

- 自動運転の実証運行【静岡市、富士市】
- AI オンデマンド交通の実証運行【長泉町、掛川市、御前崎市】
- 企業連携バスにおけるオンライン化及びLINE整備【牧之原市】
- 前年度導入したMaaSアプリの運用【富士市】

目標 3 | 公共交通サービスの効率化・高度化 を達成するための取組

<施策 2 ② | GTFS（バス情報オープンデータ）の作成・活用支援

- GTFSの作成検討【富士宮市、裾野市、浜松市、御前崎市】
- GTFSデータポータルへの掲載【袋井市】

<施策 4 ② | 地域の多様な輸送資源の活用検討>

- 企業シャトルBaaS事業の実装に向けた継続検討【湖西市】
- シャトルバスを導入している地元企業との協議【牧之原市】

中部地域の施策 | 利用者ニーズにマッチした公共交通サービスの提供 のための取組

- デマンド乗合タクシーの合理化【牧之原市】

西部地域の施策 | 自家用車からの転換に繋がる移動手段の創出 のための取組

- 準交通空白地に応じたタクシーとの共同運行の導入のため、実証運行を行う【湖西市】
- 電動アシスト自転車、電動車いすの購入費補助【森町】

交通事業者の主な取組

目標 1 | 公共交通ネットワークの維持確保 を達成するための取組

＜施策 2 ① | 交通空白地等における交通手段の維持・確保＞

- 「交通空白」解消・官民連携プラットフォームへの参画【しずてつジャストライン】
- 自動運転実証実験への協力【しずてつジャストライン】
- 学校統合に合わせた新路線の準備【東海バス】

＜施策 3 ① | 運転手等の労働環境改善に向けた支援の充実＞

- 賃金、手当の見直し【富士急バス、富士急Eビリティ、伊豆箱根鉄道】
- 長時間労働是正に向けたダイヤ改正や仕業内容の見直し、処遇改善【東海バス、伊豆箱根バス】

＜施策 3 ② | 多様な運転手の採用・育成と活躍できる環境づくり＞

- リファル採用制度の導入【伊豆急行】

＜施策 4 ① | 老朽化した車両・施設・設備等の更新・耐震・長寿命化

- 老朽化した車両の撤去に伴う新車両の導入【伊豆箱根バス】

目標 2 | 公共交通の利活用促進 を達成するための取組

＜施策 2 ② | 訪日外国人など旅行者の受入環境の整備＞

- 多言語対応と連携体制の強化を図るモバイル端末の導入【伊豆急行】

＜施策 4 ① | 上屋・ベンチ設置等による待合環境の充実＞

- バス停の上屋設置に向けた自治体との協議【伊豆箱根バス】

目標 3 | 公共交通サービスの効率化・高度化 を達成するための取組

＜施策 1 ② | 交通弱者等に対する支援の充実＞

- 精神障害者割引制度の導入【伊豆急行】
- 駅の点字タイルの改修【伊豆箱根鉄道】

＜施策 3 ① | 鉄道、バス、タクシー、航路などあらゆる輸送手段のシームレスな連携＞

- 他社との接続を考慮したダイヤの編成【天竜浜名湖鉄道、東海バス、しずてつジャストライン】
- 「利用者アンケート」の実施【静岡鉄道】

＜施策 5 ① | 環境に配慮した車両の導入＞

- EVバスの導入【富士急バス、しずてつジャストライン】

東部地域の施策 | モード間の乗継環境改善 のための取組

- 現在設置しているサイネージをより効果的に活用した情報発信を行い、乗継環境の改善に努める【富士急Eビリティ】

西部地域の施策 | 自家用車からの転換に繋がる移動手手段の創出 のための取組

- サイクルトレインの実施【天竜浜名湖鉄道】